産官学連携による地域経済の振興

(社)俯瞰工学研究所 所長 松島克守 東京大学 名誉教授

俯瞰工学研究所

一般社団法人 俯瞰工学研究所 http://www.fukan.jp/

東京大学の俯瞰工学研究室10年の研究成果を引継ぎ、知の俯瞰、技術の俯瞰、経済の俯瞰、社会の俯瞰・・・俯瞰することで現在の自己の立ち位置を再確認して明日の行動を考え、元気に未来に挑戦する人々が集ら場所として開設しました。

代表理事 松島克守 東京大学•名誉教授 理事 内田 和成 早稲田大学教授 (元)BCG日本代表 理事 浦野 文男 (元)PENTAX 代表取締役社長 (株)三菱総研理事長 (元)東京大学総長 理事 小宮山 宏 (元)マッキンゼー日本代表 理事 平野 正雄 森雅彦 理事 (株)森精機製作所 代表取締役社長

監事 酒井正之 弁護士

背景

張さん、見出しだけ 訳してください

揺らぐ土台 第5部

1

定から外れ、伊藤氏の悲願は 門は年間1億円を超す赤字に 歴されたかにみえた。 案の材をつくる。 旧無川村は 野昭治氏は振り返る。 だが2000年代に入って 行政主導の開発で出様さ不 国の過疎地域指

家町と合併する。

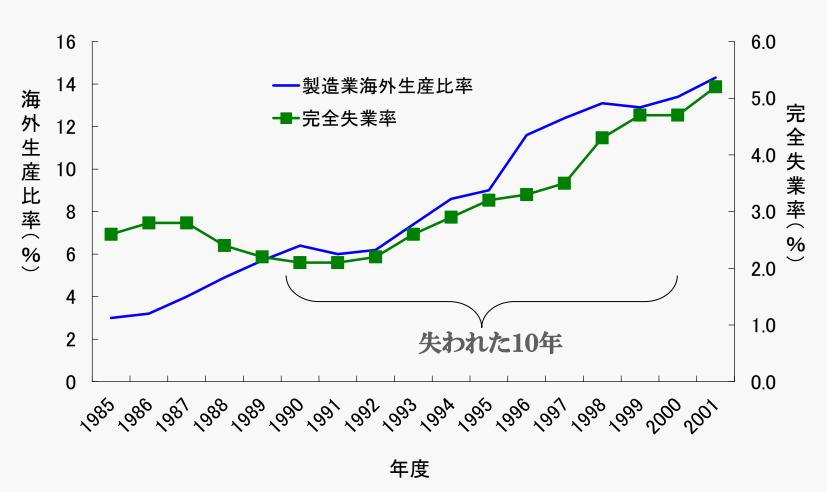
長期停滞から何を学ぶ

まで半世紀近く村長を務めた た地域がある。新潟県の旧県 ※や有利な地方債を使い、す 整施設が続く。2003年 L然天文館と、20カ所を超す 白銀の世界にスキー場、 「遜殊の優等生」と呼ばれ

り堀と、あらゆるものに国の 色の行間を読め、と徹底的に 会を引き出した。「国の制 ホテルやスキー場など 村は65年に隣接する中

製造業の海外進出

空洞化する日本、さびれる地方



地域経済の構造変化

工業団地の時代 地域に工場誘致 (1990年頃まで)

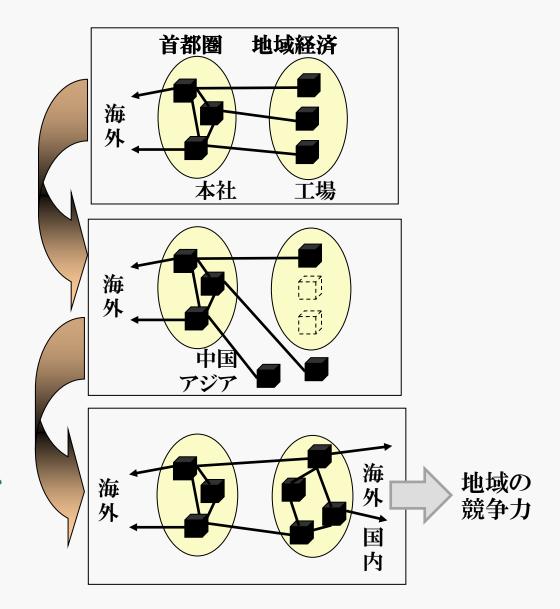
製造業の海外進出 (1990年代以降)

地域経済の空洞化 (1990年代以降)

クラスター経済への 構造転換

地域内で産業を興し、地域の競争力で

自立回転する経済



産業政策の変遷

高度成長経済 所得格差•都市問題

安定成長経済 地方の雇用・資源エネルギー 持続成長経済 有限の地球・少子高齢化

臨海部における重化学工 業の推進 ~ '70

地方分散の推進 '70~'95

新成長分野の支援 '95~'00

競争力ある地域産業・企業の支援 '00~

地域の自立支援 '05~

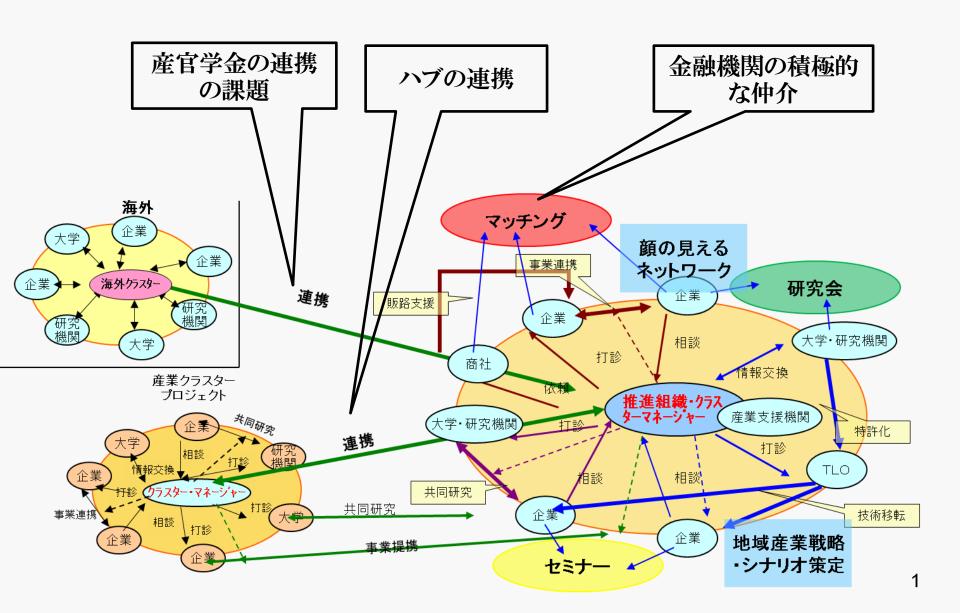
2000年以降の政策

- ・産業クラスター計画
- 中小企業新事業活動促進法
- ・中小ものづくり高度化法
- 改正產業再生法
- 中小企業地域資源活用促進法
- 企業立地促進法

産業クラスター計画

全国で、中堅・中小企業10,200社、延べ 290校を超える大学等が参加。公設試96、 産業支援機関404、金融機関227、商社98 等が産業クラスターを支援。 ◇TOHOKUものづくりコリドー ◇OKINAWA型産業振興プロジェクト (モノ作り、医工連携、環境、IT) (IT、健康、環境、加工交易) ◇次世代中核産業形成プロジェクト (モノ作り、バイオ、IT) ◇循環・環境型社会形成プロジェクト ◇地域産業活性化プロジェクト (環境) (TAMA、中央自動車道沿線、東葛川口つくば、 三遠南信、首都圏北部、京浜)(モノ作り) ◇九州地域環境・リサイクル産業 交流プラザ(環境) ◇首都圏バイオネットワーク(バイオ) ◇九州シリコン・クラスター計画 ◇首都圏情報ベンチャーフォーラム(情報) (半導体) ◇九州地域バイオクラスター計画 (バイオ) ◇東海ものづくり創生プロジェクト(モノ作り) ◇東海バイオものづくり創生プロジェクト(バイオ) ◇北陸ものづくり創生プロジェクト(モノ作り、バイオ) ◇関西バイオクラスタープロジェクト(バイオ) ◇関西フロントランナープロジェクト (モノ作り、IT) ◇四国テクノブリッジ計画 ◇環境ビジネスKANSAIプロジェクト(環境) (モノ作り、健康・バイオ)

産業クラスターのモデル



産業クラスター政策の成果

- ・各地域でコアとなる産業が創出された
- 各地域でコアとなる支援機関が創出(TAM A協会、ASTEM、K-RIP等)
- ・ 地域連携のネットワーク強化(イノベネット)
- ・産官学の連携の意識の強化
- ・複数の省庁の施策を組合せた活動のモデル
- ・クラスター手法のノウハウが地域に蓄積

産業クラスター政策の課題

- ・クラスターに求心力ハブの形成
- ・ 大企業(アンカー企業)の巻き込み
- ・ 地域の中小企業ネットワークの強化
- ・ 研究開発プロジェクト効果的な組み合せ
- 地域アイデンティティの確立
- 自治体の主体性の確立
- ・ 他省庁の施策との有機的な連携

地域に共通する地域経済の課題

- ・ 地元中小企業の育成、支援
 - マーケッティング、事業継承、M&A,海外展開
- ・地元人材の育成と活用
 - リタイアード人財の活用(団塊世代)
 - 地元大学の学生の地域内企業への就職
 - 高校卒業生の地域内の雇用確保
- ・地域の特性を活かした産学連携の推進

地域クラスター形成の機能要件

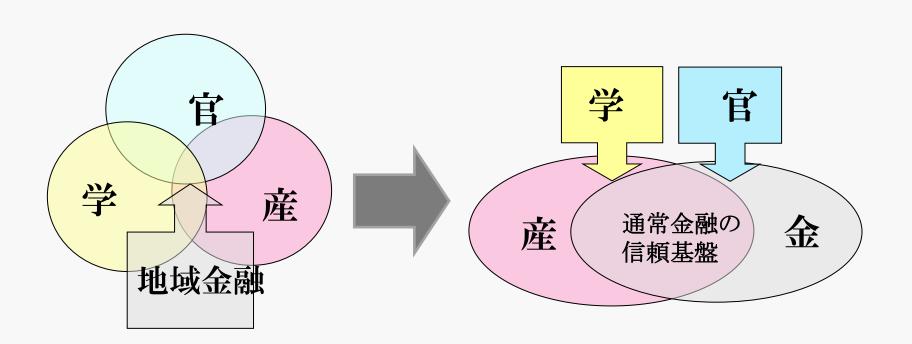
- ・ 先端技術をシード(種)とする新産業を地域に根付かせ育成するためには、研究開発機能、技術移転機能
- 加えて新規産業に対する適切な資金供給の機能が 必須である
- ・そして高度専門人材の集積と教育力
- ・ 高度専門人材の集積には地元の小中高の教育力が 極めて重要である
- 地域の豊かな文化を生かした都市機能の高度化を 強力に推進する必要がある。

提言:地域間連携強化

- ・ 地域内・地域間ネットワークの強化
- ・ 事業性のある技術開発の推進
- ・政策と事業創出・育成を推進する人財
- ・ マーケッティング(販路開拓)の支援
- ・ 産官学金の連携をする地域ハブ機能
- ・ 新事業を金融機能に繋ぐ、目利き機能
- オープンイノベーションの推進
- ・ 複数の政策を統合し地域振興する自治体機能

提言:新たな産官学金の連携モデル

産官学に地域金融が参加 特定プロジェクトでの展開 企業と地域金融の基盤に学と官が参加 事業領域全体で展開



地域クラスター形成の事例

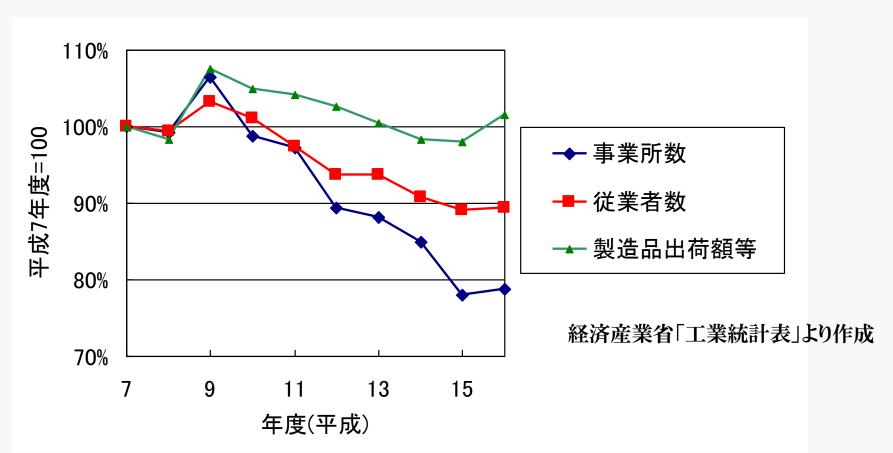
浜松オプトロニクスクラスター構想



浜松地域の企業活動	2007	2000
企業数	845社	742社
企業間取引関係数	3114	2738
1企業平均取引数	7.37	7.38

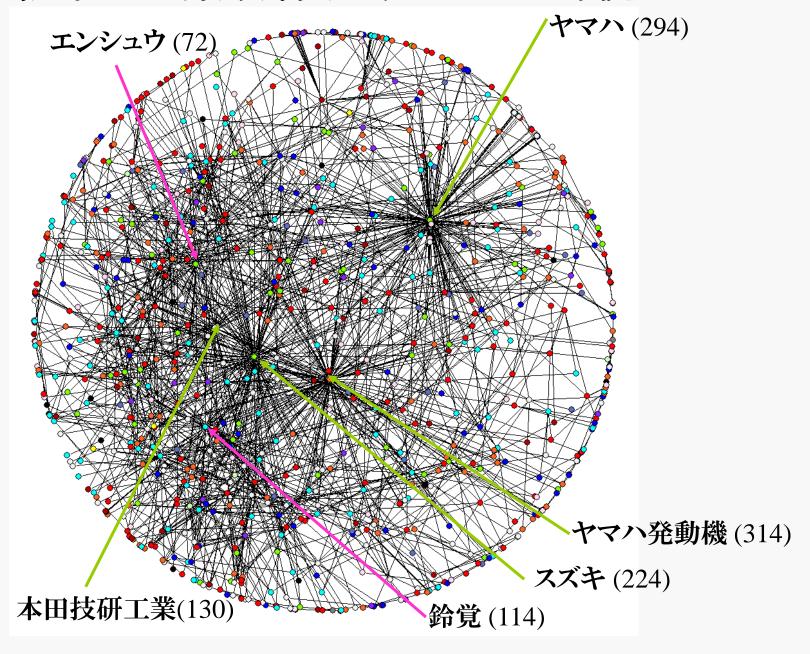


浜松オプトロニクスクラスター構想の背景

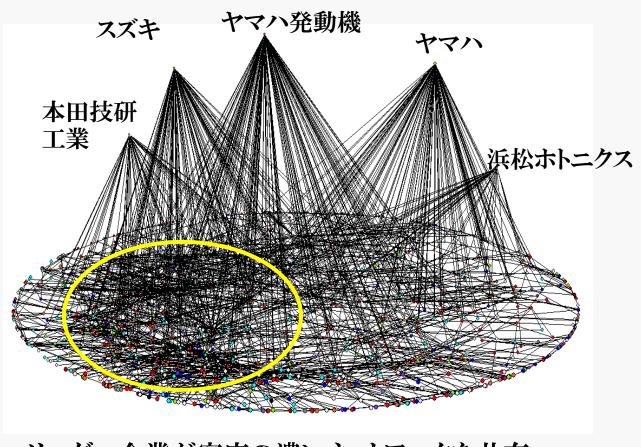


→輸送用機械、楽器、繊維に代わる第四の製造業の柱としての オプトロニクス産業の育成へ。

浜松市の企業取引ネットワークの可視化



浜松市のハブ企業とサプライチェーン



リーダー企業が密度の濃いネットワークを共有

浜松クラスターの分析結果と課題

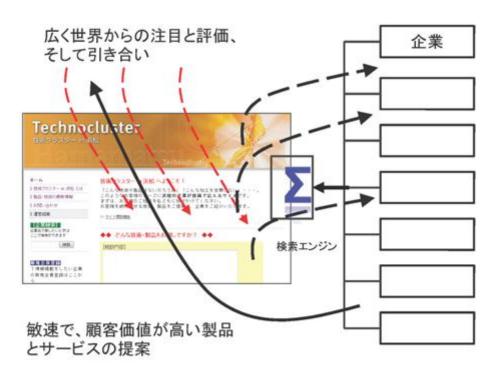
- ・製造業の十分な集積がある。
- ・強力なハブ.コネクター企業がある。
- ・輸送機と光産業の産業構造と規模のギャップ
- ・輸送機企業の海外移転
- ・地域内連携の不足(ネットワークの強化)
- ・新規顧客の開拓の必要性
- ・既存ビジネスへの依存

浜松イノベーションマネジメントシステム

- 迅速で、顧客価値が高い製品とサービスの提案 -

浜松の知識と技術を一つにまとめる

ウェブ上の企業情報を用いた潜在的取引先・類似企業の抽出



浜松イノベーションマネジメントシステム 「テクノNETはままつ」

http://www.technonet-japan.info/



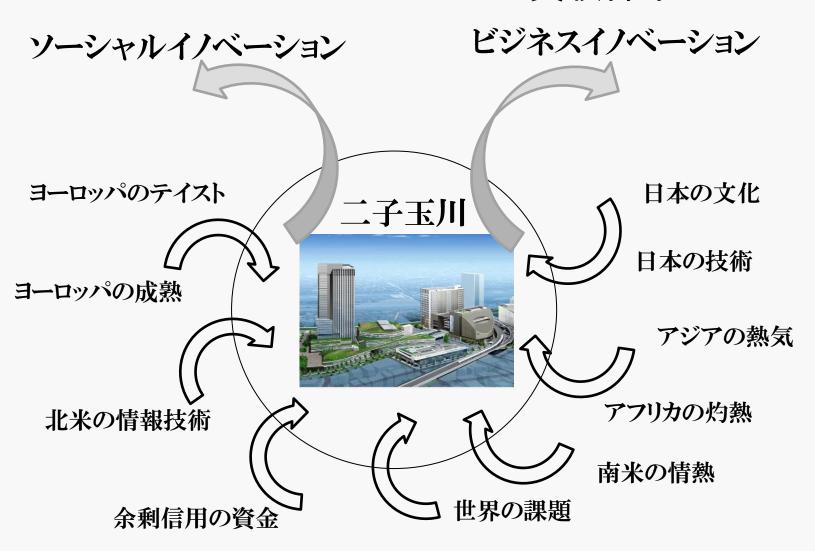
- ✓地域ネットワーク連携
- ✓メンバー参加型
- ✓サイト自動更新
- ✓先端技術の実装
- ✓Webサービスのマッシュアップ
- ✓ソーシャルメディアの活用✓クラウドの実践

事例:二子玉川クリエイティブシティー

◆ 丸の内・大手町・銀座では創造できないビジネスが生まれる街



都市型クラスター形成 オープンイノベーションの実験都市



地域クラスターとは地域経営戦略

- ・地域クラスターとは、特定地域における、企業、大学、 公的機関のネットワークで構成されるものであり、単 に地理的な近接性のみによる工業団地・産業集積と は異なる。
- 新事業の展開や起業家の輩出、産学官金の連携による地域産業技術の開拓といったダイナミックな経済活動の昂進。
- 地域経済の効率が次第に高っていく、好ましい循環 を生み出す地域環境。
- 鍵はイノベーションを志向する地域文化醸成である。